

政策コメンテーター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日～11月11日)

分野: 人材育成・働き方	
氏名:	深尾 昌峰 公益財団法人京都地域創造基金理事長
質問事項	記述式回答
予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)① 2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	仕事(職業)のあり方が大きく変化する中で、求められる人材・能力が大きく変容していく。そのため、学び方、働き方も多様化していることが予想される。 また、一方で、非正規労働も増え、非正規労働が50%を超えることも予想される。従来の労働観が通用しなくなり、経済に悪影響を及ぼすことも予測される。
目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)② また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	多様な学び方が真に保障される社会。特に、学び直しや社会人になってからの大学院入学などが可能になる社会を実現。 正規労働を基軸とする福祉政策や雇用政策を転換させ、非正規の連続を強いられる人々にも社会保障を届けるような制度に変える。これは起業家などを増やしていく文脈でも重要なポイントだと考える。 投資環境を整備する。特に国内におけるスモールビジネス、ソーシャルビジネスに国民が積極的に投資できる環境の整備(社会的投資環境の整備)。
今後取り組むべき構造改革(2016年～2030年)	(300字以内で回答してください)
(2) 上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	アントレプレナーシップを涵養するような教育機会の提供と整備(高等教育改革) 挑戦することが許される社会の実現。 起業率を高めるための改革。ビッグベンチャーではなく、スモールベンチャーをたくさん生み出すファイナンスシステムと人材教育 大学の域学連携のより一層の推進、産学連携の加速 社会的投資減税の実施(貯蓄から投資への流れを加速させる)。

政策コメンテーター報告(第2回)(意見照会期間:2016年10月31日～11月11日)

分野: 地域経済	
氏名:	深尾 昌峰 公益財団法人京都地域創造基金理事長
質問事項	記述式回答
予測される経済・社会的な構造変化(2030年)	(300字以内で回答してください)
(1)① 2030年には、各分野において、どういった経済・社会的な構造変化が予測されるでしょうか。	このままでいくと、団塊の世代を核とする資産が地域から東京をはじめとする都市部に集中する。教育機関の都市部集中により、地方の人材供給力が一層低下する。これは中長期的に見れば、食料供給をはじめとする暮らしの基盤を揺るがす問題であり、地方の問題ではない。
目指す経済・社会の姿(2030年)	(200字以内で回答してください)
(1)② また、そうした構造変化を踏まえ、我が国が目指す経済・社会の姿はどうあるべきでしょうか。	豊かな地方が豊かな都市を形成しているという認識をもち、循環型経済やそれらをデザインできる人材を育成すべきである。また、インドや中国などの人口が多い国々の台頭を受け、食料安全保障を真剣に考え、地域経済との接続の中で第一次産業のあり方やそれらの従事者を社会でどう育成・支えるかを考えていくべきである。
今後取り組むべき構造改革(2016年～2030年)	(300字以内で回答してください)
(2) 上記(1)で挙げられた経済・社会の姿を実現するためには、足元から今後に向けてどのような構造改革に取り組むべきとお考えでしょうか。基本的な考え方や具体的な方法がございましたらご記載ください。	(1) 高等教育の見直しを積極的に行うこと。特に実業系高校の再構築と位置付けを見直す。大学の大衆化と裏腹の関係で、実業系の価値を再構築すべき。また学びの体系をEQFなどを参考に一生涯学ぶスタイルに変化させていくことも必要。 (2) 農業とロボットやAIなどの先端技術との融合を一層進めていく (3) 農地などの保全活用を弾力的かつスピード感をもって進められるよう、地域の農業委員会の裁量権を拡げる。 (4) 社会的投資のシステムを導入し、地域経済の活性化、構造変化を促す。 (5) 地域金融機関の力を最大限発揮できるよう、金融改革を加速させる。